

区分	No.	研修名	研修目的	主な内容	参加対象	開催期日	回数	1回当たり		会場	担当課
								日数	定員		
共通 専門 研修	16	福祉サービスに関する苦情解決研修	苦情解決制度の実効性を高め、提供された福祉サービスの質の向上に資することを目的とする。	講義、演習（事例検討）	福祉施設・事業所等の苦情解決責任者・担当者・第三者委員・その他関係職員	未定	2	1	80	金沢市内	県福祉サービス運営適正化委員会
	17	指導者養成研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の指導者を養成するため、全国社会福祉協議会の研修に派遣する。	講義、指導演習	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の指導予定者	①前期 7月～8月頃 ②後期 11月～12月頃	1	3	2	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	研修課
	18	対人援助技術講座	対人援助職に必要なソーシャルワークについて、支援実践から事業運営を視野に入れた実践活動力を養う。	対人援助技術における基礎を習得しているものを対象に、その効果と課題を共有・検証し、専門職としてステップアップするために必要なことや、気づきの事例等を実践	老人、障害施設の生活相談員(支援員)・介護職員等、在宅介護支援センター、障害児(者)地域療育支援事業、精神障害者地域生活支援センターの相談員のうち、6日間出席出来る者	5月11日 6月8日 7月20日 8月23日・24日 9月20日	1	6	50	福祉総合研修センター	研修課
	19	対人援助技術講座(指導者養成)	職場や地域などにおける指導者として主体的な活動を目指す専門職を対象とする。自己を振り返り、高めていくと同時に、指導者として必要となる様々な知識や技術の習得を目的とし、これからの実践活動につなげる。	スーパービジョンの実践	過去(H29除く)に対人援助技術講座を受講した者、H29対人援助技術講座を受講した者のうち、人材育成を担当する者、管理者	10月25日	1	1	30	福祉総合研修センター	研修課
	20	福祉サービス総合研修	「自分の仕事の本質的な意味づけ」を再発見するプロセスを通じて、職場で活用できる「ものの見方・考え方」を養う。	多職種・他分野と連携しながら仕事の価値観やものの見方などを学ぶ(「福祉施設職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修」の修了者が続いて受講することが理想)	福祉施設で3～5年経験職員を基本(職種に関係なくすべての福祉職員が対象)	9月12日 9月19日 9月26日	1	3	60	福祉総合研修センター	研修課
	21	福祉の仲間づくり研修	中堅職員として、後輩の育成等の責任を感じ始める時期に、改めて仕事のやりがいを感じてもらい、モチベーションアップにつなげ、意欲を引き出すとともに職場の枠を超えたネットワークづくりを支援し、リーダーとしての更なる飛躍と人材定着を促す。	ネットワークづくり モチベーションアップ コミュニケーションスキルアップ、	福祉施設・事業所等に勤務する中堅職員等	11月	1	1	50	福祉総合研修センター	研修課
	22	OJT指導者養成研修	福祉の職場における人材育成の意義や方向性、指導育成担当者として求められる役割・スタンスとOJTを実践するうえでの職場研修の仕組みや手順を習得する。	職場研修の考え方と推進方法、OJT活性化施策の推進、意図的・計画的指導の推進、職場研修担当者の役割と課題	福祉施設の現任職場内研修担当者	9月6日・7日 11月20日・21日	2	2	36	福祉総合研修センター	研修課
	23	ストレスマネジメント研修	リーダー及び中堅職員がストレスマネジメントの意義や職場内で部下や後輩のストレス状況を把握するための気づきの視点を学ぶことにより、職員の定着や働きやすい職場環境の整備等を促す。	ストレスのメカニズム理解、職場内の様々なストレスマネジメントの手法	福祉施設の中堅職員等	8月9日	1	1	50	福祉総合研修センター	研修課
	24	リスクマネジメント実践研修	施設運営において必要なコンプライアンスの知識を習得し、意識を高めるとともに、実際の職場に結びつけながら利用者の安全対策を中心としたリスクマネジメントの観点を体系的に学ぶ。	29年度指導監査結果及び30年度指導監査方針について経営者の志や理念の伝承、職場内共有のノウハウ等を学ぶ。	福祉施設のリスクマネジメント担当	①7月 ②8月30日 8月31日	2	2	60	福祉総合研修センター	研修課
	25	コミュニケーション技法実践研修	職場内における部下や後輩との円滑なコミュニケーションを通じて、職場の活性化やモチベーションの向上を図るとともに、利用者やそのご家族の方等々との良好な関係づくりを目指し、アサーション(相手の立場を踏まえながら自分の立場や考えをしっかりと伝える)のコミュニケーションスキルを習得する。	アサーションの基本スキル アサーション効果を高める伝え方、聞き方 コミュニケーション能力を高めるためにはなど	福祉施設のリーダー(役職がある者)職員	12月	1	1	50	福祉総合研修センター	研修課
26	事例研究推進方法研修	成果を上げるための課題解決の思考プロセスと、組織の推進力を大きく左右する課題解決スキルを習得する。	事例研究の方法、事例研究における課題発見、事例研究における原因分析と解決法の立案、評価の方法	福祉施設の職員	8月9日・10日	1	2	60	福祉総合研修センター	研修課	

区分	No.	研修名	研修目的	主な内容	参加対象	開催期日	回数	1回当たり		会場	担当課
								日数	定員		
共通専門研修	27 ①	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（特定多数の者対象）	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（特定多数の者対象）	・基本研修（講義）①人間と社会、②保健医療制度とチーム医療、③安全な療養生活、④清潔保持と感染予防、⑤健康状態の把握、⑥高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論、⑦高年齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論、⑧「喀痰吸引」実施手順解説、⑨「経管栄養」実施手順解説、 ・基本研修（演習）①「喀痰吸引」演習・評価、②「経管栄養」演習・評価 （その他、筆記試験、実地研修あり）	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者（児）施設等（医療施設を除く）、居宅サービス事業等に就業している介護職員等。ただし、喀痰吸引等が必要な入所者又は利用者がいること、実地研修先を確保できること等の条件あり。	①前期5月～8月 ②後期9月～12月	2	10	①100 ②50	福祉総合研修センター 七尾サンライフプラザ 石川県立看護大学等	研修課
	27 ②	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（不特定多数の者対象）指導者養成講習	介護職員等が喀痰吸引等を実施するために受講することが必要な研修（基本研修・実地研修）の講師及びその指導者を養成する。	①介護職員等による喀痰吸引等の実施について（制度の概要、基本研修のカリキュラムの内容）、②人間と社会、③保健医療制度とチーム医療、介護と看護の連携、④喀痰吸引のケア実施、⑤経管栄養のケア実施、⑥安全管理体制とリスクマネジメント、⑦施設・事業所における体制整備、⑧演習指導（喀痰吸引のケア実施）、⑨演習指導（経管栄養のケア実施）	医師、保健師、助産師又は看護師（准看護師を除く）ただし、（不特定多数の者対象）研修の講師及びその指導を行う者（保健師、助産師又は看護師で実地研修での指導予定者については、臨床等での実務経験を3年以上有する者）等の条件あり。	①5月 ②9月	2	2	25	福祉総合研修センター 石川県立看護大学等	研修課
	27 ③	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（特定多数の者対象）	居宅及び障害者支援施設等において、必要なケアをより安全に提供するため、適切に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等を養成する。	・基本研修（講義）①重度障害児・者等の地域生活等に関する講義、②喀痰吸引等を必要とする重度障害児・者等の障害及び支援に関する講義、緊急時の対応及び危険防止に関する講義（喀痰吸引）、③喀痰吸引等を必要とする重度障害児・者等の障害及び支援に関する講義、緊急時の対応及び危険防止に関する講義（経管栄養） ・基本研修（演習）①喀痰吸引、②経管栄養 （その他、筆記試験、実地研修あり）	介護福祉士、障害者（児）サービス事業所及び障害者（児）施設等（医療機関を除く。）で、福祉サービスに従事している介護職員、特別支援学校の教員、保育士等。ただし、喀痰吸引等が必要な利用者があること等の条件あり。	7月	1	3	40	石川県立看護大学	研修課
	27 ④	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（特定多数の者対象）指導者養成講習	介護職員等が喀痰吸引等を実施するために受講することが必要な研修（基本研修・実地研修）の講師及びその指導者を養成する。	介護職員等への指導のポイント、評価基準等をまとめた指導者用マニュアル及びDVDにより自己学習を行う。	医師、看護師（准看護師を除く）、保健師又は助産師。ただし、（特定多数の者対象）研修の講師及び指導を行う者等の条件あり。	随時	1	—	50	自己学習	研修課
	27 ⑤	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修指導者フォローアップ研修	喀痰吸引の実施にかかる知識や技術、及び、医療的ケアが必要な介護高齢者等に喀痰吸引等を実施する介護職員への指導や支援方法をブラッシュアップする。	介護職員等への支援、感染管理を意識した指導方法の工夫、喀痰吸引の指導のポイント、経管栄養の指導のポイント	喀痰吸引等研修指導者養成講習等を終了したもの	未定	1	1	60	石川県立看護大学等	研修課